

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期／ バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備／ バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、 グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」

～公募説明会資料～

2026年8月26日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
自動車・蓄電池部 SIPチーム

【説明会での注意事項】

- ・ 本説明会は事務局にて録画をさせていただきますので、ご了承ください。
- ・ 説明中はマイクをミュートにしてください。
- ・ 説明会中に音声聞こえない等支障がありましたらチャットでご連絡をお願いします。
- ・ 質問がある場合はTeamsの挙手ボタンを押してください。
事務局で指名いたしますので、指名を受けた方はミュート解除して質問をお願いします。所属組織名は述べていただくなくても結構です。
- ・ 質疑応答後、マイクをミュート、挙手ボタンを解除してください。
- ・ 質問の内容は本公募に関する事柄に限定させていただきます。

【目次】

1. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要
2. 調査業務の実施体制
3. 公募概要
4. 調査業務内容
5. 応募の事務手続きに関する注意事項

1. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

<SIPの仕組み> ※赤字はSIP第3期で強化する取組

- 総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が、
Society5.0の実現に向けてバックキャストにより、
社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な課題を設定
- CSTIがプログラムディレクター(PD)・予算配分をトップダウンで決定。
- 基礎研究から社会実装までを見据えて一気通貫で研究開発を推進。
- 府省連携が不可欠な分野横断的な取組を産学官連携により推進。
マッチングファンド等による民間企業の積極的な貢献。
- 技術だけでなく、事業、制度、社会的受容性、人材の視点から社会実装を推進。
- 社会実装に向けたステージゲートやエグジット戦略(SIP後の推進体制)を強化。
- スタートアップの参画を積極的に促進。

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の概要

<SIPの推進体制>

- 右図参照

<事業期間・課題数・予算額>

- 事業期間
 - 2023年度～2027年度(5年間)
- 課題数
 - 14 (NEDO担当は3つ)
- 予算額
 - 令和5年度予算:280億円
 - 令和6年度予算:280億円
 - 令和7年度予算:280億円



戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期の課題

- SIP第3期では14課題を設定し、研究開発を実施(NEDOは3課題を推進)。
- 今回は「バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」の調査業務が公募対象

 豊かな食が提供される 持続可能なフードチェーンの構築 松本 英三 (株)J・オイルミルズ 取締役常務執行役員	 スマート防災ネットワークの構築 橋 浩一 東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授
 統合型ヘルスケアシステムの構築 永井 良三 自治医科大学 学長	 スマートインフラマネジメントシステムの構築 久田 真 東北大学大学院工学研究科 教授 兼 インフラ・マネジメント研究センター センター長
 包摂的コミュニティプラットフォームの構築 久野 謙也 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 兼 筑波大学 スマートウエルネスシティ政策開発研究センター 長	 スマートモビリティプラットフォームの構築 石田 東生 筑波大学 名誉教授
 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する プラットフォームの構築 西村 順弘 三豊大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長	 人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備 山海 嘉之 筑波大学システム情報系教授 兼 ユビタス研究センター 研究部長 兼 東京大学工学研究センター センター長 / COE2016(第1期) 代表副総長 / COE
 海洋安全保障プラットフォームの構築 石井 正一 日本 CCS 調査(株) 顧問	 バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備 持丸 正明 (国研)産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長
 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築 浅野 浩志 岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一財)電力中央研究所 研究アドバイザー / 東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授	 先端的量子技術基盤の社会課題への応用促進 寒川 智広 日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル
 サーキュラーエコノミーシステムの構築 伊藤 耕三 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授	 マテリアル事業化イノベーション・ 育成エコシステムの構築 木塚 祥介 ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役 パートナー

プログラムディレクター(PD)



01 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築

松本 英三

(株)J-オイルミルズ 取締役常務執行役員



02 統合型ヘルスケアシステムの構築

永井 良三

自治医科大学 学長



03 包摂的コミュニティプラットフォームの構築

久野 譜也

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 兼
筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長



04 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

西村 訓弘

三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 教授・特命副学長



05 海洋安全保障プラットフォームの構築

石井 正一

日本CCS調査(株) 顧問



06 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築

浅野 浩志

岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一財)電力中央研究所 研究アドバイザー /
東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授



07 サーキュラーエコノミーシステムの構築

伊藤 耕三

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授



08 スマート防災ネットワークの構築

楠 浩一

東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授



09 スマートインフラマネジメントシステムの構築

久田 真

東北大学大学院工学研究科 教授 兼 インフラ・マネジメント研究センター センター長



10 スマートモビリティプラットフォームの構築

石田 東生

筑波大学 名誉教授



11 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備

山海 嘉之

筑波大学 システム情報系教授 兼 サイバニクス研究センター 研究統括 兼 未来
社会工学開発研究センター センター長 / CYBERDYNE(株) 代表取締役社長・CEO



12 バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備

持丸 正明

(国研)産業技術総合研究所 フェロー



13 先端量子技術基盤の社会課題への応用促進

寒川 哲臣

日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル



14 マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築

木場 祥介

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役パートナー

2. 調査業務の実施体制



3. 公募概要

公募概要

- **業務名**

- 「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備／バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」

- **業務概要**

- バーチャルエコノミー圏1.6兆円規模の市場形成に向けて、SIPバーチャルの実施者のこれまでの研究開発及び社会実装に向けた取組状況をヒアリングし、市場展開に向けたシナリオの整理／戦略検討、またその前提となるグローバルベンチマーク調査、及び最終年度に向けた提供財の社会実装への取組の提言を実施

- **実施期間**

- NEDOが指定する日から**2026年12月28日まで**

- **予算規模**

- **1,800 万円以内**（予算の範囲内で採択します）

- その他詳細は「仕様書」を参照してください。

公募スケジュール

- 公募開始 2026年 8月 21日
- 公募説明会 8月 26日
- 公募締め切り 9月 4日正午
- 採択先決定 9月中旬(予定) (採択通知日より業務開始可能です)
- ウェブサイトに公表 9月下旬(予定)
- 契約締結 10月中旬(予定)

なお、採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。

公募(2026/8/21公開 https://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100357.html)



ホーム > 募集事業(公募) > 「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備/バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」の公募について

本公募 「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備/バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」の公募について

2026年8月21日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)は、「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備/バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」の実施者を広く一般に募集しますので、本件について受託を希望する方は、以下に従ってご応募ください。

募集事業について

1. 事業内容

(1) 概要

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備では、ミッションとして「サイバー空間からフィジカル空間への価値連鎖を通じて豊かな暮らしを実現するとともに、1.6兆円規模の国内バーチャルエコノミー圏を創出すること」を目指しています。

2026年度は、2023年度～2027年度実施の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」(以下「SIPバーチャル」という。)の4年目にあたり、プロジェクト終了後の社会実装を実現していくための戦略立案に向けて重要な年度であることから、「バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査及び提供財の社会実装への取組提言」の調査を実施します。

本調査では、課題のミッションであるバーチャルエコノミー圏1.6兆円規模の市場形成に向けて、SIPバーチャルの実施者のこれまでの研究開発及び社会実装に向けた取組状況をヒアリングし、市場展開に向けたシナリオの整理/戦略検討、またその前提となるグローバルベンチマーク調査、及び最終年度に向けた提供財の社会実装への取組の提言を実施します。

(2) 事業期間

NEDOが指定する日から2026年12月28日まで

4. 調査業務内容

振り返り：昨年までのSIPバーチャル調査事業の概要

2024年度【公募2件】

バーチャルエコノミーサブ課題
毎のWWの技術動向調査

2024年度調査①(技術、製品)
サブ課題A+Bベンチマーク調査

情報を
活用し

2024年度調査②(基盤、サービス)
サブ課題Cベンチマーク調査

2025年度：バーチャルエコノミー課題『社会実装予測と拡大に向けたロードマップ策定』【公募3件】

目的①

SIPバーチャルの実施者の
社会実装予測と課題からの提言

調査①

『ユースケース単位の体験価値・市場規模
マーケティング調査』

- ・アウトカム、ユースケース毎の市場及びコンペチタ等の調査
- ・ユースケースに対する市場展開戦略とビジネス強度向上の提言

市場拡大目標に向けた社会実装
の強化・支援活動の継続が必要

目的②

インターバス技術に係るデジタル基盤
サービスからビジネス拡大・強化するには

調査②

『インターバス技術の海外動向に基づく市
場形成に向けたデジタルインフラおよび人材
要件調査』

- ・デジタル基盤サービスの海外市場の動向調査、
サービス要件の調査

目的③

- ・1.6兆円（7000億円増）の市場創出
のためのロードマップ策定
- ・インターバス基盤サービスの要件定義
（人材要件からの横展開方策提案）

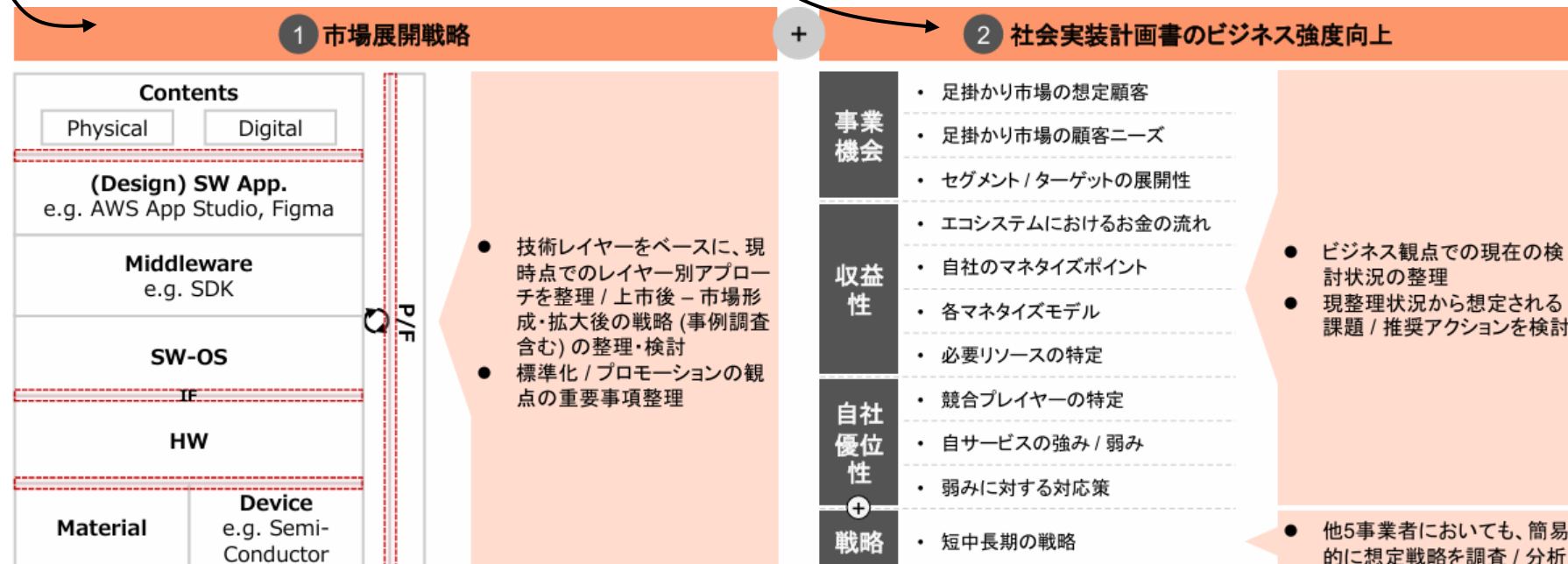
調査③

『バーチャルエコノミー圏創出のロードマップ
策定とインターバスサービスインフラおよび
人材育成のあり方の整理』

振り返り:2025年度委託調査振り返り

調査テーマ:『ユースケース単位の体験価値・市場規模マーケティング調査』

- 市場規模の推定
 - 実施計画書、事業者ヒアリングも参考にしながら異なる試算ロジックで市場規模を推定
- 市場展開戦略検討
 - 技術レイヤー(下図)ベースで事業者毎のアプローチ整理、市場投入から拡大への戦略
- ビジネス強度向上検討
 - 事業機会、収益性、優位性、戦略
- 提言



PDコメント

調査いただいた資料を資料として終わらせないことである。本資料を通じて実施者側に気付きを与え、そこから何かしらのアクションに繋がると良い。有望なセグメンテーションを選定できているかは重要である。その中で、戦略部分を検討する人をどのように補充していくか等についても、各実施者には検討していただく必要があるだろう。現段階から、標準化に関するアクション等も含めて検討し、SIPの予算がある期間のうちに我々としてできることをご支援していきたい。

調査業務概要

- バーチャルエコノミー圏1.6兆円規模の市場形成に向けて、SIPバーチャルの実施者のこれまでの研究開発及び社会実装に向けた取組状況をヒアリングし、市場展開に向けたシナリオの整理／戦略検討、またその前提となるグローバルベンチマーク調査、及び最終年度に向けた提供財の社会実装への取組の提言を実施

(1)バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査

- ①実施者の市場展開に向けた現状シナリオの再整理、市場展開/ビジネス強度計画向上戦略の策定
- ②グローバルベンチマーク調査及びアクションアイテムの整理
- ③調査結果に基づく実施者への報告と意見交換・助言

(2)ユースケースのマーケティング調査に基づく戦略及び計画への提言・報告会の実施

(3)定期的な意見交換の実施

調査分析・業務支援の業務内容 | (1)

(1)バーチャルエコノミーにおける社会実装に向けた戦略検討、グローバルベンチマーク調査

①実施者の市場展開に向けた現状シナリオの再整理、市場展開/ビジネス強度計画向上戦略の策定

- ・各実施者が社会実装を想定している体験価値と市場規模、実現可能性を分析・判断し、必要に応じて各実施者の社会実装計画とその進捗確認や意見交換を行い、現状把握する。
- ・2025年度調査・戦略策定において調査不足、未策定があれば、2025年度の調査スキームを踏襲しつつ、追加調査を実施する。
- ・2025年度の技術レイヤー分析手法を踏襲し、市場展開戦略のインプットの一つとして活用の上、想定対応策を整理する。
- ・これらを踏まえて市場展開/ビジネス強度計画向上戦略を策定する。

表：2025年度に調査した実施者と調査実績

SIP-VE 実施者	No.	社会実装出口	市場展開戦略	ビジネス強度計画向上	
産業技術総合研究所 人工知能研究センター	①	不活動予防サービス・生活モニタリングサービス・歩行障害緩和サービス	調査未	昨年調査	
H2L	②	体験抽出と合成による体験共有サービス	昨年調査		
	③	固有感覚を共有するオフィス支援サービス			
山形大学	④	全人類対応メタレストラン			
東京大学	⑤	非接触タッチによるヒーリング、学習体験、エンターテインメント			
広島大学	⑥	ハプティクスデザインプラットフォームサービス事業化（Saas）	昨年調査		
	⑦	ヘルスケアおよび遠隔就労支援サービス事業化			
産業技術総合研究所 人間社会拡張研究部門）	⑧	インターバースオフィスシステム			調査未
	⑨	インターバースイベント支援 （アバター実体化による体験価値をアニメファンに提供する事で高単価化し、2030年までにイベント収益倍増を目指す）			
竹中工務店	⑩	現在の没個性的・画一的なまちづくりを変えていく、ひとの価値観の違いを踏まえた体験価値（感情・行動）の予測・評価ツール及びサービス			
名古屋大学	⑪	メタワークサービス			
NTTドコモ	⑫	人間拡張基盤サービスの提供			

②グローバルベンチマーク調査及びアクションアイテムの整理

実施者毎の研究開発状況を踏まえ、PDやSPDと相談の上、ベンチマーク調査の対象とする実施者・領域を絞り込んで、市場・競合プレイヤーの把握、グローバル市場の動向、課題とアクションの抽出を行う。

【最新の市場動向ポイント例】 AIロボティクス、フィジカルAI
また、業界・分野をリードする（ホームランバッター）実施者の検討やアクションアイテムの提言

③調査結果に基づく実施者への報告と意見交換・助言

調査結果を各実施者に対して個別に報告すると共に、各実施者が想定するユースケースの提供する体験価値と市場規模、実現可能性について意見交換・助言を行うこと。

調査分析・業務支援の業務内容 | (2)(3)

(2) ユースケースのマーケティング調査に基づく戦略及び計画への提言・報告会の実施

- ・(1)の調査結果に基づき、PDやSPD、PM、NEDO等の方針を踏まえた戦略及び計画における各実施者の方針等に関して提言を取りまとめる。
- ・10月下旬に対面又はオンラインでの中間報告会をSIPバーチャルのPDやSPD、PM、NEDOに対して実施すること。
- ・中間報告会やSIP第3期の関連委員会等の指摘を反映し、実施者も加えて12月中旬に対面又はオンラインでの最終報告会を実施すること。
- ・同最終報告会での指摘を反映し、本調査報告書を作成すること。
- ・(3) 定期的な意見交換の実施
 - (1)～(2)の実施に際し、方針等について定期的に(少なくとも月1回以上)SIPバーチャルのPDやSPD、PM、NEDO等と意見交換を実施する。また、SIPバーチャルの実施者や事務局関係者と連携の上、本業務に取り組むこと。

調査業務実施にあたっての注意事項

- NEDOが担当するSIP3課題の研究開発に参画する大学・企業等との
利害関係による利益相反を発生させないよう、実施体制、情報管理体制、
守秘義務を課す誓約書の準備等、細心の注意を払うこと。

5. 応募の事務手続きに関する注意事項

応募の事務手続きに関する注意事項

【受付方法】 要注意

- 本公募は、電子申請システム「Jグランツ」で応募を受け付けます。
また当該申請システムを通じて行われた申請に対する採択・不採択結果についても、原則として当該申請システムで通知等を行います。
- なおJグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」又は「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。
GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。GビズIDが無いと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。

【受付期間】

2026年8月21日(金)～2026年9月4日(金)正午まで(アップロード完了)

【提出先及び提出方法】

- 以下の公募ページに記載のJグランツの申請フォームから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行ってください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100357.html

応募の事務手続きに関する注意事項

【提出書類】

以下の提出書類が必要となります。具体的な様式は公募の添付資料をご参照ください。
(チェックリストは提出頂かなくても結構です)

提出書類
提出書類のチェックリスト
別添1:提案書
別添2:提案者情報
別添3:NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス
直近の事業報告書 直近3年分の財務諸表(原則、円単位:貸借対照表、損益計算書)※

*直近の事業報告書や財務諸表をWebページ上で公表している場合には、その公表URLを「別添2:提案者情報」中に明記する形で可とします。

応募の事務手続きに関する注意事項

【留意事項】

- 提出書類は日本語で作成してください。
- Jグランツ上の申請は提出期限を厳守ください。提出期限を過ぎた提案は受け付けません。*
- 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- 他の提出方法(持参、郵送、FAX又はE-mail等)による提出は、原則受け付けません。
- 万が一、応募者の責に依らない理由(例:組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない等)により、提出期限までにJグランツ上の申請処理が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。

*システム上の制約で、データ容量オーバーで応募が受け付けられないケースも想定されます。
また、通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。
特に、提出期限直前は混雑する可能性があります。入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て提出まで完了できなかった場合も、受け付けることができません。
再提出は受付期間内であれば可能です。
提出には、締め切りまでの時間的な余裕をもって提出されるようお願いします。

応募の事務手続きに関する注意事項

【応募要件】

応募資格のある法人は、次の(1)～(3)までの全ての条件を満たすことのできる、単独又は複数で受託を希望する**企業**とします。

- (1)当該技術分野又は関連技術分野の調査／支援実績を有し、かつ、調査／支援目標達成及び調査／支援計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- (2)委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- (3)NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。

特に下記の点について本事業における調査能力を十分に有すること。

サブ課題A～サブ課題Dに関する取組に関して十分な技術的専門性に基づくグローバルベンチマーク調査が実施可能な体制を構築すること。

応募の事務手続きに関する注意事項

【審査基準】

i. 提案の適合性

(NEDOの意図に合致しているか 等)

ii. 提案の具体性・優位性

(提案に具体性があるか、スケジュールが効率的か、提案に優位性があるか 等)

iii. 実施体制・能力

(役割分担が明確で適切な遂行体制か、必要な実績や人員を有するか 等)

iv. 提案の経済性

(予算の範囲内で適切に計上し、妥当な予算規模か 等)

v. 経営基盤

(経営状況は良好か 等)

vi. 総合評価

なお、採択審査にあたり、以下のワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定状況で加点をを行います。

・女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点します。

応募の事務手続きに関する注意事項

【採択先の公表及び通知】

a. 採択結果の公表等

採択した案件に関しては、事業者名(再委託先・共同実施先含む)、事業概要をNEDOのウェブサイト等で公表します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b. 附帯条件

採択に当たって条件(予算や体制の変更、経費の支払方法 等)を付す場合があります。

応募(提案)時の注意事項

【契約書】

新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約標準契約・調査委託契約約款を適用します。
また、「秘密情報等の管理に係る特別約款」を適用します。

・約款・様式:

調査委託契約標準契約書

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

【事務処理】

委託契約における事務処理については、委託業務事務処理マニュアルを適用します。

・委託業務事務処理マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

問い合わせ先

- ・本公募の内容に関する質問等は説明会で受け付けます。

それ以降のお問い合わせは、2026年8月24日(月)から9月1日(火)の間に限り、以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
自動車・蓄電池部 田坂、佐野、城所、井出本
E-mail: sip3-virtualeconomy@nedo.go.jp